

秋田市との歴史と交流

慶応4年（明治元年）、戊辰戦争で孤立した秋田藩を救うため、武雄兵（佐賀藩）約800人がアームストロング砲等を携えて出征し、秋田城下を戦火から守り抜きました。昭和63年、戦死した武雄兵の墓が改葬され遺族が判明。秋田市の地元の方々により亡くなった佐賀藩士54人の名を刻んだ碑と共に葉隠墓苑が開設され、以降絶えることなく毎年秋には秋田の地元の方々による慰霊祭が挙行されています。武雄兵士の墓の存在が知られ、両市の交流が始まり、これまでも3度の秋田竿燈まつりを武雄で披露いただきました。



また、武雄の豪雨災害のときには秋田市から多くの支援をいただいたこともあり、今年7月の豪雨で7,500軒以上が浸水した秋田市へ災害見舞金をお渡ししました。

児童交流団と市民訪問団を結成 秋田市を訪問

前回5年前に続く、児童交流団（市内小学校6年生11人と引率教諭）及び市民訪問団（公募等による市民24人）を今年新たに結成し、秋田市の日新小学校との児童交流や今年で35回を迎える新屋葉隠墓苑慰霊祭に参拝等を行いました。これまで、この歴史的な絆をつないでいただいた秋田市の皆さまへ感謝を伝え、この秋田市との歴史・絆を後世につなげることを目的に訪問しました。



児童交流団の感想

葉隠墓苑では、石碑に武雄の人の名前が刻まれていて、こんなに行ってくれたんだと心に残りました。実際に秋田市に行って、行く前より戊辰戦争のことが分かって良かったです。秋田市のたくさんの人にお世話になり、楽しい交流、よい経験になりました。ありがとうございました。
山内西小学校 江島 美空

竿燈まつりは、武雄で見たときよりも迫力があってすごかったです。私も三日目に体験したけど、バランスをとるのが難しく、すごさがよく分かりました。武雄と秋田のつながりなど、秋田で学んだたくさんのお話を色々な人へ伝えていきたいと思いました。

若木小学校 松尾 彩愛

日新小学校の人たちと写真立てを作って、思っていたようには出来なかった事や、竿燈まつりで竿燈が自分のほうに倒れてくる体験が出来たことが、心に残っています。秋田研修で学んだことで、ご先祖様に感謝の気持ちを持ち過ごそうと思いました。

西川登小学校 中尾 智帆

市民訪問団の感想

新屋葉隠会渡邊会長の言葉に感銘を受けた。「新屋地区を救ってくれたのは、武雄領の方々とアームストロング砲です。あの時、助けて頂いてなければ、自分や新屋の人々は存在していないでしょう。感謝すべきは、武雄領の方々です。後輩たちに語り続けていきます。」と固く語られた。

武雄町 平岡 清宏

参加したことをきっかけに秋田とのつながりを知り、先祖が従軍していることを知った。秋田を訪れ、戊辰戦争に思いを馳せ、従軍された方々に感謝の念でいっぱいになった。これまで知る由もなかったが、見えるものがこんなに変わるとは思わなかった。両市のつながりを周囲の方に伝えていきたい。

山内町 稲田 美佐子

葉隠墓苑は地域の方々により大切に維持されていた。慰霊祭には、若い人や子どもたちも多数参拝。これからも年代を越え受け継がれていくであろう慰霊祭に、感謝の念でいっぱいになった。佐賀藩士・武雄兵の功績を途絶えることなく伝承されていることに感銘を受けた。

若木町 樋渡 千恵

